

9月7日労働審判に結集しよう！

山本修さんをJR本体に帰せ！

新幹線メンテナンス東海に若年出向していた山本さんは、出向期間満了（6月末）にともなう会社面談において、「JR本体に戻りたい」と意思表示した。

しかし会社は「希望を聞きに来たわけではない。出向延長を伝えに来ただけだ」「車両所の職場環境は劣悪だ。SMTの仕事はらくだと聞いている」「三島もありえるが通勤できないでしょう」「ごみが残っても車出せます。あなたには安全安定輸送に関わる仕事はできない」などと、あらかじめ出向延長させることを強要してきました。

SMT社員が熱中症で倒れる！

山本さんは事務係から新横浜事業管理所に配転させられ、さらに1998年7月にリストラで新横浜ステーション開発に11年間出向していました。そして3年前に、SMTへと出向先が変更となりました。その間、山本さんは「事務係への復職」を希望してきましたが拒否され、やむをえず前回は出向に応じました。

しかしC型肝炎という体の不安や、SMT職場の過酷な労働条件のなかで将来への不安感をもち今回は職種を問わずJR本体への復帰を強く希望しました。

7月29日に、炎天下の東京駅ホームごみ回収作業でSMTの社員が熱中症にかかり病院で治療を受けるという事態も発生しています。

JR東海の労働協約違反を許さないぞ！

会社は理不尽にも労働協約にある「本人の理解を得る取り組み」をいっさいおこなわず、54才以前の社員でも会社の都合で出向延長させるという暴挙に出ています。

会社は社員にたいして「規則を守れ」と言います。しかし会社自体が労働協約に違反していることを承知の上でやってきているのです。

私たちはこうした会社の暴挙を許すなら、54才以前の社員でも会社の命令で出向に出され、JR本体に戻らないことも公然化されてしまいます。実際に「ペナルティ的」な若年出向がやられているなかで、会社は使いかたのいい人事運用を強行しているのです。

私たちは山本さんと共に、労働審判を闘い。早急にJR本体に復帰させるために闘います。